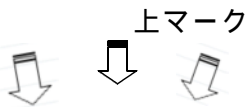
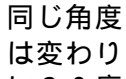


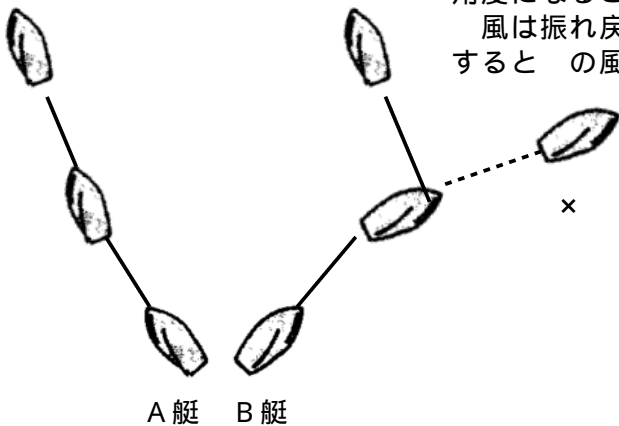
風の振れへの対応について

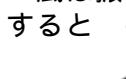


スタート後、上マークに向かっていているときに、風の振れにどのように対処するか考えましょう。風は一定の周期で振れることが多いです。右に振れてしばらくすると元に戻ったり、左に振れて元に戻ったりします。また、どちらか一方にどんどん振れの角度が大きくなることもあります。これから説明する条件としては、風は上マークを中心に左右に周期的に振れている場合を想定しています。

風が振れたら **ポイント** 上マークに近づくタックにする



スタート直後風は上マークから吹いています。A艇もB艇もタックは違いますが、同じ角度で上マークにアプローチし、条件は変わりません。ところが、のように右に20度振れました。A艇は上マークに近づく角度になりましたので、これを維持します。B艇はどうでしょう。破線のまま進むよりもタックした方が上マークへ近づく角度になることが分かります。



風は振れ戻ることが多いです。しばらくすると の風に戻り、そして の風になることもあります。 の風に合わせてクローズで走ってみて、上マークに近づく角度はどのタックか判断してそのまま走り続けるか、タックするかします。

こういう風が振れている場合に注意することがあります。

図の**リスクエリア**を帆走して、自艇の反対側に風が振れたら最悪です。前回で説明しましたが、その時点で風に対する高さがずいぶん低くなります。(自艇の方に振れたらラッキーです) 風が左右に振れるのですから、リスクが少ない中心付近を帆走するのがベターでしょう。

